

## MDJ プレス・リリース – ファイナル・レポート

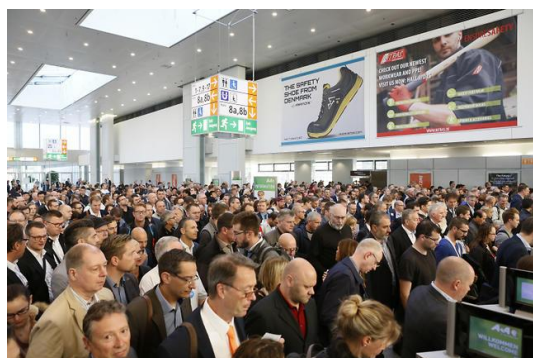
**A+A 2017 国際労働安全機材・技術展**  
ドイツ・デュッセルドルフ  
2017年10月17日～20日



過去最大、出展 1,930 社、ビジター67,000 名で開催

**A+A 2017 は職場における安全と健康に関する新たな指針を提示**

**People matter**—従業員に関わる問題は益々重要視されている。2017年10月17日から20日までの4日間にわたって開催された世界最大の労働安全展 [A+A 2017 \(国際労働安全機材・技術展\)](#) では、職場の安全や従業員の健康が改めて最大のテーマとなった。63 国から 1,930 の出展者、67,000 名を超える世界中からの業界専門ビジターが参加し、デュッセルドルフで開催された（前回 2015 年：65,000 名）。A+A は同時開催の労働安全、労働衛生に関する国際的なコンGRESSとともに、職場の安全、従業員の健康に関する世界トップ・イベントとした高い評価を受けた。



生産性向上に必須条件となる従業員の健康に関する投資は、企業の業績拡大に必要だ。職場での健康管理、安全、および作業現場やオフィスのデザインなど、あらゆる面を考慮する全体的なアプローチ促進の重要性が近年さらに高まっている。主催者メッセ・デュッセルドルフの取締役、J.シェーファーは、「A+A は安全と健康に関する世界の主要見本市として、関連業界のパートナーと協力して

ています」とコメントし、「デジタル化は未来のものではなく、今や生活と仕事の全てのエリアで不可欠なものです。同様に、IoT など様々なモノがインターネットを通じてネットワーク化される仕組みなど、A+A は働き方をグローバルに考える上で、過去、現在を通じて、未来の指針を提示しています」と続けた。

**より拡大、より国際的：すべての製品カテゴリーでトップマーク**

出展者をはじめ A+A 2017 の参加者は同展に高い満足度を示した。31 回目の開催となった A+A には世界中から 67,000 名を超える業界ビジター（前回 2015 年：65,000 名）が参加し、9つの展示ホール（過去最大 70,733 m<sup>2</sup>の出展面積）に展示された職場安全や従業員の健康促進に関する最新の製品、サービスに対し、視察だけではなく、商材としての商談を行った。出展者は 63 国、1,931 社を記録した。100 か国を超えるドイツ以外の国からのビジター割合は 40%となり、前回開

催を超え過去最高となった。**A+A** は労働安全に関する世界最大の見本市と会議として、全てのレベルで発展し、注目を集めており、4 日間の展示ホールは出展者が多数のビジターと活発な商談を行うポジティブな空気に包まれた。また **PPE** が成長市場であることが改めて確認された。

### 作業服の世界最大イベント

高品質な個人保護具や作業服、防護服の専門ビジターからの関心の高まりや投資意欲は、最新のドイツ市場調査会社のレポートでも報告されている。レポートによると、**2014** 年から **2016** 年までのドイツ全体の **PPE** 市場の成長率は **9.2%** で、**19 億 7 千万** ユーロとなる。同市場を牽引するのは作業服であるが、注目すべき点はファッション性の高い作業服がプライベートなシーンでも好まれ、需要が高まっている点である。この状況について **A+A 2017** ディレクターのホーンは「以前の作業服は着心地が悪く、ファッションナブルでもなかったが、今日では着心地も良く、仕事以外の目的で着る場面も見られます。また、ファッション性や機能性が必要とされるスポーツやアウトドア関連のハイテクな素材、衣類の開発も作業服を後押ししています」とコメントした。こういった傾向は **200** を超えるコーポレート・ファッション出展者の製品や、最新のデザインが発表された会期中のファッションショーでも確認された。

### 仕事の未来を今ここに

スマートな皮膚センサーや、心拍計、パワードスーツ、フリース・マネージメント、スマート眼鏡から落下保護のセンサー管理まで：仕事の未来に関わるイノベーションが今回多数発表され、**A+A** の新たなハイライトと位置付けられた。業界大手の **3M**、**BORNACK**、ハネウエル、**UVEX** をはじめ、ドイツの労働安全に関する災害・傷害保険の研究所 (**Institut Arbeitsschutz der Deutschen Gesetzlichen Unfallversicherung – IFA**) などは、スマート **PPE** にフォーカスした出展を行った。これらは「仕事のデジタル化」や「デジタル・アプリケーションとソリューション」などをテーマに、試作品から最新製品までが展示ラインナップされ、急増する高齢化労働者の作業プロセスの再編や、若年世代の新たな職場への要求に応えるものであった。

### 最上級の専門会議：**A+A** コングレス

併催イベントである **A+A** コングレスは、今回もドイツ連邦労働安全衛生協会 (**Basi**) の主催で開催された。**5,000** を超える参加者が **60** のイベントで取り扱われたテーマは、ドイツにおける高齢労働者の製造現場やデジタル化のメリット、職場でのメンタル・ストレスや癌患者の就労などであった。同会議は、国際労働機関 (**ILO**) と国際安全衛生センター (**ISSA**) の会議とも併催で行われた。

## 日本からも過去最高の 19 社が出展

今回、日本からは 19 社（前回 15 社）の企業が出展し、自社製品の商談、PR の場として同展を利用した。日本出展企業からも A+A に対する以下のポジティブなコメントが寄せられた。



手袋を出展した[アトム株式会社](#)のコメント

「出展も 3 回目となり、この展示会での弊社認知度も上がってきたと感じています。同時に新規顧客も着実に増えてきました。他の見本市にも出展していますが、A+A での新規顧客獲得率が一番高いです。次回も必ず出展します」

危機管理産業展（RISCON）のインフォメーション・ブースを出展した[株式会社 東京ビッグサイト](#)のコメント

「出展、来場のプロモーションについては、予想より良いリアクションを得られたと同時に、課題を発見することができたので、大変意義のある出展となった」



安全靴を出展した[シバタ工業株式会社](#)のコメント

「HALL 3 に、出展させて頂きました。初出展であったことから、集客は未知数でありましたが、会期期間中、安定してゲストの往来があり、多様なお客様が、弊社ブースにお越し下さいました」

手袋を出展した[ハンボ株式会社](#)のコメント

「初めての出展になりますが、日本や中国で開催される展示会とは全くもって来場されるお客様の意識に違いがある事に気づかされました。お客様ほぼ全てが商談の為に来場されていました。これであれば日本の展示会も出展社だけに負担させるのではなく、来場者にも費用を負担してもらい、確固とした意識を持って来て頂いた方が両者共に有益な時間が過ごせるのではないかと思います」

## 日本企業参加者向けイベントを今回も開催

今回も前回に引き続き、「繊維ニュース」を発行する[ダイセン株式会社](#)が、約 70 名もの繊維ビジネス関係者のツアーを主催し、会場を視察した。ツアー参加者の初日到着時には、A+A 2017 ディ



レクターのホーンが今回の A+A の見どころを紹介するとともに歓迎の挨拶を述べ、ご一行に深い感謝を表した（左はツアーご一行との集合写真）。

会期初日の夜には出展者を含む 90 名弱の参加者のもと、日本企業交流会を会場内で実施。主催者メッセ・デュッセルドルフの取締役、デーゲンも駆けつけ乾杯と謝辞を述べた（写真右下）。その後、出展者の

PR や繊維ニュースの岸田取締役によるツアー参加者の紹介が続き、ドイツ料理や地ビールに舌鼓を打ちながら、業界関係者とのネットワーキングの場として有意義な時間を過ごした。

前回に引き続く会期 2 日目のハイライトツアーでは、作業服、ユニフォームやテキスタイル関連のドイツの出展 4 社のブースを通訳付きで訪問（写真左下）。各社社長や担当者から新製品の詳細な説明



を受け、独自のブース訪問では得難い情報を得て好評であった。ドイツ出展者からは日本での取引を求める声もあがり、A+A は正に国際的な商談展示会であることを印象付けた。

次回 2019 年の A+A は 11 月 5 日～8 日の会期でデュッセルドルフにて開催される。

A+A に関する日本でのお問い合わせは：

(株)メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン

担当：服部

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 4-1 ニューオータニガーデンコート 7F

Tel.03-5210-9951 Fax.03-5210-9959

[mdj@messe-dus.co.jp](mailto:mdj@messe-dus.co.jp) <https://aplusa.messe-dus.co.jp>